



探究科2年次の物理班が、ジュニアリサーチセッションで「準優秀賞」を受賞！

普通科
探究科

山口大学、山口県立大学、山口学芸大学からなる一般社団法人やまぐち共創大学コンソーシアムが主催する令和6年度ジュニアリサーチセッション（中高生研究発表会）が、3月23日（日）に山口大学吉田キャンパスで開催されました。このたびのジュニアリサーチセッションには、山口県をはじめ、岡山県、島根県、福岡県の中学校や高等学校から106作品の応募があり、提出した予稿をもとに行われた事前審査により、参加者全員の前で口頭発表する総合発表に7作品、分野ごとに6つの会場に分かれて口頭発表する一般発表に52作品が選ばれました。本校からは、探究科の2年次生（現3年次生）が15作品、科学部の生徒が1作品を出品し、探究科の1作品が総合発表で、探究科の4作品と科学部の1作品が一般発表でそれぞれ研究成果を披露するとともに、その他の研究班は、要旨集に2ページずつ予稿を掲載していただきました。

総合発表に選ばれた物理班は、関門海峡の潮流を使って物体を運動させ、その運動で生じるエネルギーを使って発電する潮流発電の可能性について探究してきました。実験では潮流に見立てた水流の中に物体を置き、生じる運動を丁寧に記録していきました。さらに、物体の形状などにも着目し、よりエネルギーを生じる方法を考えました。審査の結果、「準優秀賞」（第3位）と、協賛企業賞である「ベルポリエステルプロダクツ賞」をいただくことができました。

一般発表では、第4会場（おもに人文社会科学分野）に出場した地理歴史1班が、下関市の観光産業を活性化させる方策を発表しました。唐戸市場やカモンワープなど観光地として活気がある地域と他の観光資源を公共交通機関で結びつける方策や、下関駅や駅前の商業施設であるシーモールを観光プラットフォーム化することを、下関市観光政策課などに提案したことを報告しました。審査の結果、「優秀賞」（2位相当）をいただくことができました。また、第6会場（おもに物理学分野）に出場した化学班は、片栗粉に水を混ぜてつくったダイラタンシー流体に擬塑性流体である食器用洗剤を混合してつくった流体の特性について発表しました。加える食器用洗剤の割合を変えたり、流体を攪拌する方法を変えたりすることにより、ダイラタンシー流体に擬塑性流体を加えてもダイラタンシー現象が起こることを報告しました。審査の結果、「最優秀賞」（1位）をいただくことができました。それぞれの会場では、大学の先生方に加え他校の生徒からも質問があり、研究を深める機会とすることができました。

令和6年度ジュニアリサーチセッションに出品した研究班と研究テーマ等

研究班等	研究テーマ	結果
国語	「シン古典の授業をつくる」～平家物語～	一般発表出場
地理歴史1	下関市の観光アクティベーション計画～高校生の視点から観光産業発展について考える～	一般発表 優秀賞
地理歴史2	綾羅木式土器の文様～文様に込められた願いとは～	一般発表出場
公民1	くずが力づくで冷やしてみた～葛を利用したグリーンカーテンの作製～	誌上発表
公民2	Let's fly!～緊急着水時の車椅子利用者向け救命胴衣を作る～	誌上発表
英語	誰もが楽しめる祭りを目指して	誌上発表
数学1	階段とエレベーターの利便性の比較	誌上発表
数学2	暗記における匂いが与える効果	誌上発表
物理	水中における物体の振り子運動～潮流発電の未来を探る～	総合発表 準優秀賞 BPP賞
化学	ダイラタンシー流体と擬塑性流体の混合流体の特性について	一般発表 最優秀賞
生物1	アリどうしが仲良くなるのはアリエるか?!	誌上発表
生物2	在来種のナメタジと外来種のナメタジの相違点について	誌上発表
保健体育1	高校生におけるパーソナルスペースについて	誌上発表
保健体育2	人間が色彩から受ける影響	誌上発表
家庭	ベジタブルでサステナブル～野菜に含まれる界面活性剤及び酵素を利用した食器用洗剤について～	誌上発表
科学部	室内における空気の循環と換気の効率に関する研究	一般発表出場



令和6年度ジュニアリサーチセッションに参加した生徒



総合発表で研究成果を披露する物理班



一般発表で、6つの会場に分かれて研究成果を発表する本校生徒

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科・文理探究科を対象としたプログラムです。

科学部が、VEXV5 ROBOTICS COMPETITION JAPAN CUP に参加しました。

普通科

探究科

科学部の生徒5人が、3月20日(木)に東京都品川区にある品川インターシティホールで開催されたVEXV5 ROBOTICS COMPETITION JAPAN CUP(以下、「V5RCジャパンカップ」という。)2025に参加しました。参加した生徒は、すべて普通科の生徒で、2年次生(現3年次生)が2人、1年次生(現2年次生)が3人です。



競技に参加する本校生徒

VEXV5 ROBOTICSは、中学生や高校生がロボットを設計して組み立て、作ったロボットをプログラミングやコントローラーを通じて動作させる活動で、科学・技術・工学・数学の分野を実践的に学ぶSTEM教育のプラットフォームの一つとして注目されています。このたび開催されたV5RCジャパンカップ2025には、日本をはじめ11か国から21チームが参加していました。競技は、参加した2チームでグループをつくり、他のグループと対戦します。日本以外の中学生や高校生とグループをつくることになるため、英語で会話しながらゲームを進めました。競技の結果、本校の科学部はファイナリストに選ばれ、第2位の成績を収めるとともに、スポーツマンシップ賞をいただくことができました。

普通科の1年次生が、やまぐち高校生ICT活用コンテストで「奨励賞」を受賞！

普通科

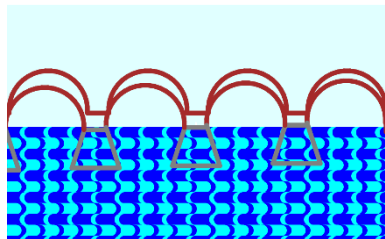
探究科

山口県教育委員会が主催する、4thやまぐち高校生ICT活用コンテストの最終審査会が1月26日(日)に行われ、特別部門であるタートルグラフィックスにおいて、普通科の1年次生(現2年次生)が奨励賞(8位相当)を受賞しました。



作品を出品した本校生徒

本コンテストは、山口県の高中生がICTを活用した「取り組み」や「社会変革アイデア」「デジタル技術」を発表するためのもので、学習コンテンツ部門やDXチャレンジアイデア部門、DXチャレンジプログラム部門



Pythonで作製した作品

などがあります。本校生徒が出品した特別部門は、プログラミング言語であるPythonに標準で用意されているプログラミング学習用ライブラリーTURTLE(タートル)を用いて、山口県にちなんだイラストを描いて応募するものです。本校生徒が作った作品のテーマは「錦帯橋」で、プログラミングにより錦川と5つのアーチを描くことができました。Pythonは、情報Iの授業でも扱う言語です。こうした機会を活用して、積極的に修得しましょう。

科学部が、脱炭素型ライフスタイル啓発動画コンテストで「最優秀賞」を受賞！

普通科

探究科

山口県が主催する2050ゼロカーボン・チャレンジ～ぶちエコやまぐち県民運動～脱炭素型ライフスタイル啓発動画コンテストに、科学部の1年次生(現2年次生)3人と2年次生(現3年次生)1人が応募し、「最優秀賞」(1位相当)を受賞しました。

山口県では、2050年までのカーボンニュートラルの実現に向けて、「ぶちエコやまぐち」を合言葉に地球温暖化対策の取組(ゼロカーボン・チャレンジ)を推進しています。本コンテストは、脱炭素型ラ



動画を応募した科学部の生徒

イフスタイルの実践を促進するため、30歳未満の若者を対象とした啓発動画コンテストです。応募テーマは、「積極的に脱炭素型ライフスタイルに取り組んでみようと思える動画」で、本校生徒が出品した作品は、ゼロカーボンの実現に向け、一人ひとりが意識を変え、ちょっとした心がけを実践しなければならないことをCM風まとめたものでした。Instagram(<https://www.instagram.com/ecoccha.y/>)で閲覧できますので、御覧ください。



Instagram

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科・文理探究科を対象としたプログラムです。